

園だより

栗橋保育園

11月号

令和元年 11月1日発行
発行責任者
社会福祉法人こうゆう会
理事長 竹下 成子

今月のくらし

清冽な空気が心身を引き締める季節

になりました。晴れた日には遙かにうっすらと雪化粧した富士山の頂が望めます。一年中で最も美しい季節となりました。

本を読んだり運動をしたりと行動への意欲も掻き立てられます。

子供たちのこの秋の生活は充実しています。

先月には楽しい運動会に参加しました。走りたりダンスをしたり、和太鼓を演奏したりと、競技を精いっぱい立派にやり遂げました。台風に見舞われ延期を繰り返した運動会でしたが、子ども達は本当に練習を頑張りました。当日のやり遂げた子ども達の笑顔がとても印象的で、素晴らしい行事となりました。ご協力頂いた父母の会役員の皆様、行事役員の皆様にごより感謝申し上げます。

今月もさらに楽しい充実した栗橋保育園の暮らしを営みたいと思います。寒さに向かう折柄風邪に立ち向かう体力を蓄えたいと思います。できるだけ自然に連れ出していくのびのびと楽しく元気に遊びたいと思います。

健康管理におきましては子供たちのますますの健康増進を図ると同時に、本格的な寒さに向かう折柄インフルエンザの予防に努めたいと思います。基本的な衛生習慣であるうがいや手洗いを一人一人丁寧に指導します。

●親子遠足

一日(金)は親子遠足、行き先は宇都宮動物園です。親子で、お友だちで、楽しく賑やかに行きたいと思います。詳細はお手紙でお知らせしますので、ご確認ください。

●七五三

十五日は七五三です。子どものお祝いですから、千歳飴の袋を作りみんなで子どもたちの健やかな成長を願いたいと思います。

◆おゆうぎ会の練習がはじまります

運動会が終わり、今月からはおゆうぎ会に向けての練習が始まります。登園がゆっくろな方は、いつもより少し早めに登園していただきますと、練習がスムーズにできるので、おゆうぎ会までの間ご協力をお願いいたします。

◆感染症の季節です◆

冬に向かい気温の下降と乾燥が始まると、感染症のシーズン到来です。保育園は、子どもたちにとって日常生活の場であり第二のお家です。それが大きなメリットなのですが、集団であるが故に、感染症のリスクを高める危険性があるというデメリットもあります。

なぜなら乳幼児は免疫力が低い上に、保育園は感染源となる恐れのある便を日常的に処理しているからです。下痢だけの場合、軽視されがちですが、実は多くの感染症で生じる症状が『下痢』です。例えば、0157など重篤な感染症でも、発症の初期段階では軽症のことも多いそうです。乳児は成人と異なり便が緩い傾向にあり、病的かどうかの境目は曖昧なので、医師による正確な診断が欠かせません。保育園は働く親の集まりですから、子どもの便が緩いだけで休ませるのは難しいかもしれません。しかし危険な感染症があることを意識し、注意深く様子を見るのが重要です。

保育園では、特に乳児を中心に便の様子をお伝えしています。便が緩い時は、ご家庭でも様子を見ていただき、おむつの取り扱いに気を付け、処理後の手洗いもしっかりするなど、注意してください。そして水のような便があった時は、登園を控え病院での受診をお願いいたします。

11月の予定

- 1日(金) 親子遠足
～宇都宮動物園～
- ※雨天の場合は茨城県立自然博物館
- 3日(日) 文化の日
- 4日(月) 振替休日
- 5日(火) 英語あそび
- 8日(金) 日舞(さくら)
- 12日(火) 科学あそび(さくら)
- 14日(木) 県民の日・和太鼓
- 15日(金) 七五三
- 19日(火) 英語あそび
- 22日(金) 日舞(さくら)
- 23日(土) 勤労感謝の日
- 26日(火) 科学あそび
- 28日(木) お誕生日会
- 29日(金) 日舞(さくら)





先月の保育から



● 静御前まつり

十九日(土) JR栗橋駅前で静御前を祀るお祭りの『静御前まつり』が開催されました。栗橋保育園からはさくら組が和太鼓で参加し、披露して頂きました。夏まつりとはまた違う舞台、更にボディスィションも変わったことで、練習の時から緊張の色を隠せない子どもたちでしたが、最後の練習が終わり給食を食べる頃には、いつもの明るい雰囲気に戻りました。リハーサルなしの本番を迎え緊張するかと思いきや、そんな様子も見せず堂々とした姿に賞賛さえ感じました。発表後の記念撮影では、とても良い笑顔を見せてくれました。やり遂げた気持ちでいっぱいだったのでしょね。



● 稲刈り

春に田植えをした稲がグングンと育ち、小さな白い花を咲かせた後、実をつけました。その実はもみの中でまん丸と膨らみ、垂れた稲穂が豊作を知らせてくれました。二日(水)いよいよ稲刈りです。さくら組が

体験しました。先生と一緒に鎌を持ち、ザクザクと刈っていきます。刈った稲は日陰干しにして、次の工程『脱穀』へ移ります。ペットボトルの蓋を穂にこすりつけると、あら不思議、ぼろぼろと一粒ずつになっていきます。その様が面白かったようで、集中して取り組んでいました。脱穀の次は『もみ取り』バラバラになったもみ殻をすり鉢に入れて、「リゴリ」とこすります。交代しながら十回ずつ数え、全員が終わる頃にやっと一粒二粒もみ殻が取れるかどうか、というくらい頑丈な殻に覆われていますので、すりこ木を持つ手にも力が入ります。脱穀ももみ取りも、興味津々の子どもたちで、一通りの工程が終わってからも、引き続きリゴリと擦っている子もいました。もみ取りまで済んだ米は、三十日(水)の収穫祭でおにぎりを作ります。今年のお米を堪能したいと思います。



● おいもほり

六月に植えたさつまいもの苗。子どもたちが間近で成長が見られるようにと、今年はプールの近くにも畑を作りました。ツルが伸びていく様を見ていた子どもたちからは「おいもは大きくなっていくかな...」と気にかけている声が聞こえ、秋の収穫を楽しみにしているようでした。二十三日(水)



そろそろ掘ってみようかと、おいもほりをしました。手で少し掘ってみると、いもの頭が顔を出し、「おいもがでてきた!!」と嬉しそうに声を挙げていました。今年のおいもは、大きすぎず小さすぎずのシャストサイズ!たくさん掘れました。収穫祭ではおいもで何を作るか思案中。子どもたちも楽しみしています。



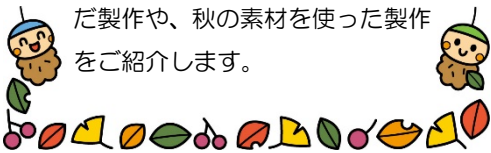
● 内科検診

二十四日(木)今年度二回目の内科検診を行いました。今回は再受診などもなく、全員が健康で終わりホッとしています。乾燥肌などケアが必要な子がいたので、おうちの保溫など気にかけていただきました。と思います。

秋のせいさく

～すみれ組・分園すみれ組～

イベントが多い秋。木の実や紅葉した葉っぱなど製作にはもってこいの季節です。『芸術の秋』とも言いますが、保育園には芸術家がいっぱい! イベントにちなんだ製作や、秋の素材を使った製作をご紹介します。



トリック・オア・トリート
〜分園すみれ組〜

じゃんぽで

ライオンの顔をつくったよ
〜すみれ組〜



第 63 回運動会

26日(土)63回目の運動会が開催されました。今年は延期に延期を重ね、言葉の通り待ちに待った運動会となりました。やっとのことで開催できた運動会、お天気にも恵まれ親子で家族でふれあいながら、笑顔あふれる運動会となりました。

うんどうかいダイジェスト

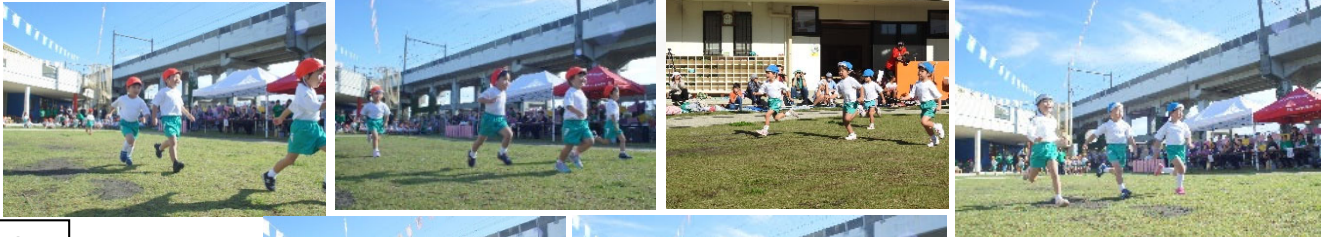
開会式



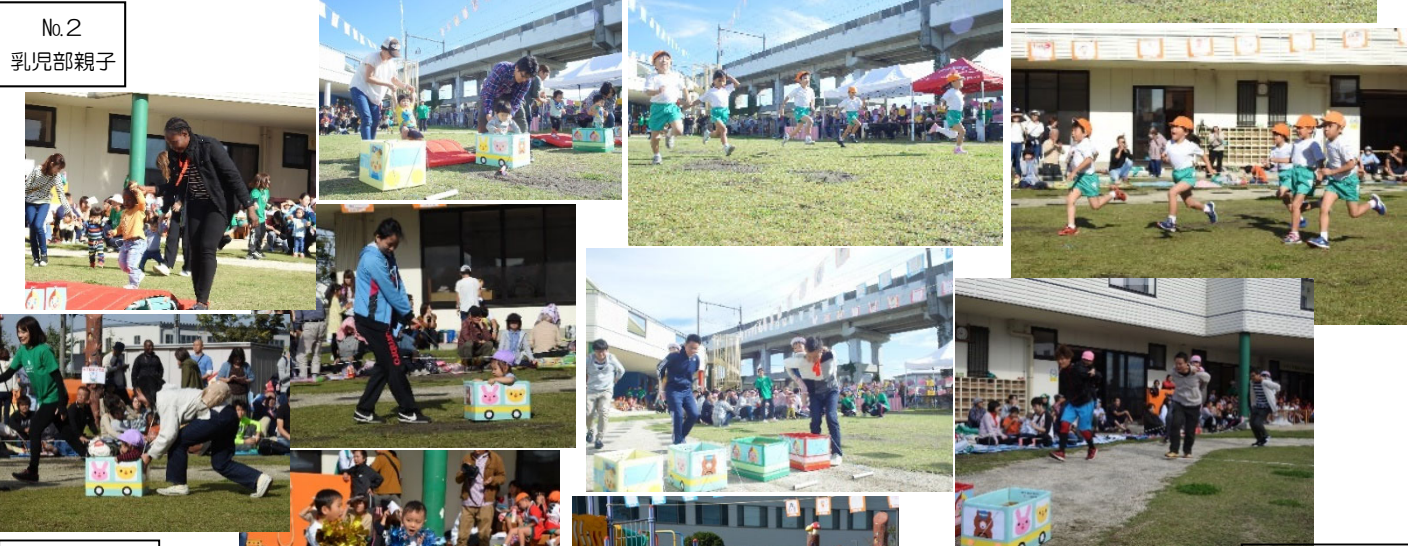
No. 1
徒競走



お話をしていたいただいたお客さま



No. 2
乳児部親子



No. 4 すみれ
パブリカ



No. 3 もも
にじのむこうに



No. 5 うめ
よさこいソーラン



No. 6 さくら
和太鼓



No.9 うめ・さくら
サーキット



No.10 もも
デカバンリレー



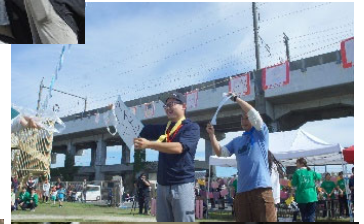
No.11 うめ
橋わたりリレー



No.12 さくら
ダンス de 玉入れ



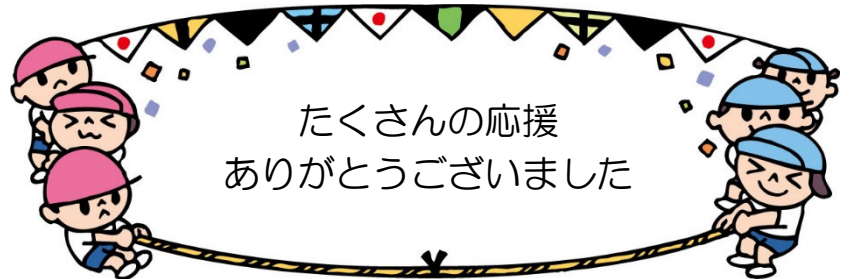
No.13 保護者
借り物競走



No.14 うめ・さくら
げんきっこリレー



閉会式



たくさんの応援
ありがとうございました